8. 今後の道路整備の基本的な考え方（案）

「福岡市道路整備アクションプラン2024」の成果や課題、道路を取り巻く状況の変化、市民や議会、道路整備懇談会における意見などを踏まえ、令和7年度から概ね10年間の「道路整備の基本的な考え方」、及びそれらを実現する、令和7年度から4年間（令和7年～令和10年）の「主要施策」を、下記のとおり整理しました。

道路整備の基本的な考え方 （令和７年度から概ね10年間）	主 要 施 策 （令和７年度から４年間）
 1. 安全・安心でみんなにやさしい道づくり	● **すべての人が移動しやすい道路整備** ・道路のバリアフリー化 拡充 ● **誰もが健康で活躍できる道路整備** ・外出を促すベンチなどの設置 拡充 ● **交通事故から命を守る安全対策** ・通学路などの安全対策 ・効率的・効果的な安全対策
 2. 都市の魅力・活力を高める道づくり	● **都市の骨格を形成する道路整備** ・幹線道路の整備 ・自動車専用道路の整備 ● **既存ストックを活用した交通円滑化** ・ボトルネック交差点などの改善 拡充 ● **総合交通体系の構築を支える道路整備** ・公共交通の利便性向上 ・都心部の交通対策 拡充 ・多様なモビリティに対応した道路空間の検討 ● **彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出** ・楽しくて居心地が良い道路空間の創出・活用 拡充 ・地域の個性を活かした道路空間の整備 ・まちづくりと連携した道路整備
 3. 災害に強い道づくり	● **自然災害に備える道路整備** ・無電柱化の推進 拡充 ・橋梁耐震補強の推進 ・狭あい道路の拡幅整備 ・道路パトロール・道路啓開の実施 ● **持続可能な道路の維持管理** ・計画的補修による橋梁などの長寿命化 ・維持管理の高度化・効率化 ・道路利用の適正化 ● **市民との共働による道路保全** ・市民などによる道路の見守りの促進 拡充
 4. 環境にやさしい道づくり	● **温室効果ガスを削減する取組み** ・自転車活用の促進 ・低炭素な建設資材の活用 新規 ・道路照明灯、防犯灯のＬＥＤ化 ・再生可能エネルギーの活用 新規 ・手続きなどのオンライン化 新規 ● **気候変動に対応した道路整備** ・街路樹による道路緑化 ・環境に配慮した舗装材の活用 新規

9. 主要施策（案）

柱１　安全・安心でみんなにやさしい道づくり

ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰もが思いやりをもち、すべての人にやさしいまちの実現を目指し、すべての人が安全で快適に利用できるよう、道路のバリアフリー化などを進めるとともに、通学路や生活道路などの安全性向上を図り、すべての人が安全・安心に歩けるよう、歩行空間の確保などの安全対策を進めます。

『すべての人が移動しやすい道路整備』

● 道路のバリアフリー化　拡充

すべての人々が社会参加に向けて安全で快適に移動できるよう、ユニバーサルデザインに基づいた道路のバリアフリー化に取り組みます。

特に、「福岡市バリアフリー基本計画」に定める重点整備地区内の生活関連経路については、優先的に整備を進めます。

整備にあたっては、歩道のフラット化、段差のない縁石やエスコートゾーンの設置、踏切部の誘導表示などに取り組みます。

また、道路案内標識が外国人旅行者にも分かりやすいものとなるよう、英語表記の改善に取り組むとともに、認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまち「認知症フレンドリーシティ」を目指して、「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」に基づいた、認知症の人にも分かりやすい道案内の検討に取り組みます。

整備事例（歩道のフラット化）

整備事例（段差のない縁石）

参考事例（踏切部の誘導表示）

『誰もが健康で活躍できる道路整備』

● 外出を促すベンチなどの設置　拡充

高齢者や体の不自由な人をはじめ、誰もが安心して外出できる環境をつくるため、歩道幅員が狭いバス停に幅をとらないベンチを設置するなど、引き続き、ベンチの設置に取り組みます。

また、Fitness Cityプロジェクトとして、自然と楽しく体を動かしたくなる仕組みや仕掛けづくりに取り組みます。

整備事例（休憩スポットの設置）

【大博通り】

整備事例（バス停ベンチ）

【大楠バス停】

整備事例（休憩スポットの設置）

【大博通り】

整備事例（交差点ベンチ）

【南警察署西口交差点】

『交通事故から命を守る安全対策』

●通学路などの安全対策

児童や未就学児など、誰もが安心して歩けるよう歩行空間の整備に取り組みます。

特に、地域住民の健康づくりやコミュニティづくりの場として活用されている小学校周辺の道路については、優先的に進めます。

また、幹線道路は、交差点の安全対策などに取り組むとともに、小中学校の通学路については、「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関と連携・協力し、安全対策に取り組みます。

整備事例（路側のカラー化）

整備事例（防護柵・車止め）

●効率的・効果的な安全対策

生活道路については、人優先の安全・安心な通行空間の確保を図るため、ビッグデータなどを活用し、最高速度30km/hの区域規制のほか、交通実態に応じて区域内における大型通行禁止などの各種交通規制を実施するとともに、ハンプやスムーズ横断歩道などの物理的デバイスを適切に組み合わせた「ゾーン30プラス」に取り組みます。

整備事例（ハンプ）

整備事例（スムーズ横断歩道）

柱2　都市の魅力・活力を高める道づくり

都心部を中心に高度な都市機能や、九州全体の国際交流のゲートウェイにふさわしい港湾・空港機能などが充実する都市をめざし、物流・交流を支える都市の骨格を形成する道路整備などを進めます。

また、誰もが楽しくて居心地が良い道路空間や美しい街並みや地域の個性を生かした魅力的な都市景観を形成するため、彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出などを進めます。

『都市の骨格を形成する道路整備』

●幹線道路の整備

市域内の拠点間の連携強化や、周辺市町との広域交流・連携のため、交通の円滑化を図るとともに、生活道路や通学路に流入する通過交通の排除を図るため、都市計画道路などの幹線道路の整備に取り組みます。

整備前

整備後

道路の拡幅【都市計画道路 築港石城町線】

●自動車専用道路の整備

本市南部地域や太宰府方面から福岡空港へのアクセス強化や空港周辺道路の渋滞緩和を図るため、福岡高速3号線の延伸事業に取り組みます。

整備イメージ図

『既存ストックを活用した交通円滑化』 拡充

●ボトルネック交差点などの改善

交通の円滑化を図るため、渋滞が著しい交差点の改良に取り組むとともに、国土交通省が実施する国道3号博多バイパス立体化事業の促進に取り組みます。

特に、平均速度20km/h未満などの要件から「地域の主要渋滞箇所」として選定されている交差点のうち、渋滞長が長いなどの課題が多い交差点については、抜本的な交通渋滞の改善に向けた検討に取り組みます。

また、安全かつ円滑な高速道路ネットワークの形成を図るため、自動車専用道路のジャンクションやランプなど交通渋滞が発生しやすい箇所に対して、福岡北九州高速道路公社をはじめとする関係機関との相互連携を図り、交通渋滞の改善に取り組みます。

整備事例(右折レーン設置)

空港口交差点 交差イメージ図

整備事例(路面標示)

『総合交通体系の構築を支える道路整備』

●公共交通の利便性向上

コンパクトな都市という強みを活かすとともに、市民生活を支え、来街者にも分かりやすく使いやすい交通体系づくりの実現を図るため、拠点駅等でのバスや鉄道の利便性を高める道路整備などによる交通結節機能の充実・強化や、バス事業者などと連携を図りながら、バス停への上屋の設置やバス停カットの整備などによる公共交通利用環境の改善に取り組みます。

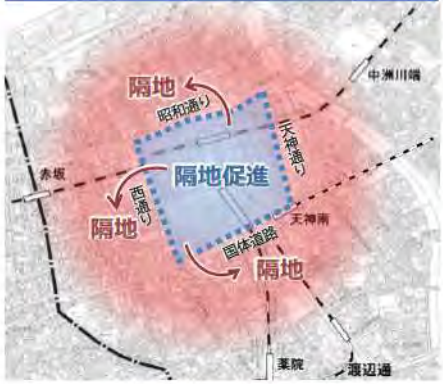
整備事例(駅前広場)

整備事例(バス停カット)

●都心部の交通対策　拡充

都心部内の道路交通混雑を緩和するため、天神通線の整備や駐車場の隔地化などを進めるとともに、スマートフォン等で天神周辺における駐車場の空き状況などが確認できる「駐車場満空情報システム」の運用と更なるサービス向上に取り組みます。

隔地化 概要図



駐車場満空情報システム

●多様なモビリティに対応した道路空間の検討

運転手不足や少子高齢化・人口減少による物流や生活交通の維持といった交通課題の解決に向け、自動運転やモビリティハブによる利便性向上など、国の動向や技術の進展などを踏まえながら、新たなモビリティに対応した道路空間の検討に取り組みます。

自動運転（物流）

資料：国土交通省（WISENET2050・政策集）

モビリティ・ハブ

資料：国土交通省（道路政策ビジョン2040）

『彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出』

●楽しくて居心地が良い道路空間の創出・活用　拡充

誰もが魅力を感じ、安心して楽しく回遊でき、市民や来街者が集い憩い多様な活動ができるよう、人が中心となった緑豊かで彩りや潤いを感じる質の高い道路空間の創出に取り組むとともに、「歩行者利便増進道路（ほこみち）制度」などによる、沿道と一体となった道路空間の利用・活用に取り組みます。

参考事例（丸の内仲通り）

資料：東京都

道路を活用したイベントの状況（天神）

主催：We Love 天神協議会

●地域の個性を活かした道路空間の整備

美しく良好な都市環境を創造し、観光振興や地域活性化などを図るため、地域と行政が一体となって、歴史的建造物や街並み、豊かな自然環境など、地域の個性を活かした道路空間の整備に取り組みます。

整備事例（櫛田神社前）

整備事例（中洲中央通り）

整備状況（北崎）

整備イメージ（志賀島）

●まちづくりと連携した道路整備

都心部や都市の成長を推進する魅力・活力創造拠点、市民生活の核となる広域拠点や地域拠点などにおいて、拠点の特性に応じたまちづくりを進めるため、拠点の魅力や集客力の向上、交通円滑化に向け、まちづくりと連携した道路空間の整備に取り組みます。

柱３

災害に強い道づくり

切迫する大地震や激甚化・頻発化する自然災害から市民の命と暮らしを守るため、人命救助や消防活動など、広域的な応急対策を実施するために必要な緊急輸送道路などにおいて、防災・減災・国土強靭化に資する道路整備を進めるとともに、増加する道路施設の老朽化に対応するため、将来に渡り持続可能な道路の維持管理を進めます。

『自然災害に備える道路整備』

●無電柱化の推進　拡充

地震や台風などの災害時における電柱倒壊による道路遮断の防止や、電力・通信網の切断被害の軽減に加えて、安全で円滑な交通確保や観光振興などを図るため、「福岡市無電柱化推進計画」に基づき、緊急輸送道路や生活関連経路などの無電柱化に取り組みます。

無電柱化の推進にあたっては、電線管理者と協働で検討を重ねたファスト地中化や工事ヤードの常設化などの手法を活用しつつ、更なるコスト縮減とスピードアップに向けた検討を進めます。

整備前

整備後

【大原周船寺停車場線】

●橋梁耐震補強の推進

道路空間は、災害時における人命救助や消防活動などに不可欠な緊急輸送路及び防災空間としての機能を有するため、「福岡市橋梁耐震補強計画」に基づき、緊急輸送道路に架かる橋梁などの耐震補強に取り組みます。

整備前

整備後

【興徳寺橋】

●狭あい道路の拡幅整備

生活道路において、交通安全や防災上支障となっている幅員4.0m未満の狭あいな道路を解消するため、必要な用地については寄付を受けながら、道路の拡幅整備に取り組みます。

整備前

整備後

【高美台4170号線（路線整備型）】

●道路パトロール・道路啓開の実施

人や自動車が道路を安心して・安全に利用できるよう、危険損傷箇所などを早期に把握するため、日常的に道路パトロールを実施しています。

また、大規模災害が発生した場合に備え、「福岡市地域防災計画」に記載された交通要注意箇所や緊急輸送道路などの幹線道路については、重点的にパトロールを実施するなど、状況の変化や異常箇所などの早期把握に努めます。

なお、大規模な災害が発生した際は、緊急車両などの通行のため、速やかに最低限のがれき処理や簡易な段差処理などを行うことで、救援・救護ルートの確保に取り組みます。

パトロール状況

『持続可能な道路の維持管理』

●計画的補修による橋梁などの長寿命化

道路施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図るため、「福岡市道路施設アセットマネジメント個別施設計画」などに基づき、計画的に定期点検や予防保全対策などに取り組みます。

修繕後（橋梁）

修繕後（舗装）

●維持管理の高度化・効率化

ICTや地理空間情報を活用して、点検結果や調査箇所などの情報を統合し、劣化の傾向や優先度の分析を行うことに加えて、ドローンなどの新技術を活用した点検や地中レーダーによる路面下空洞調査を行うなど、維持管理の高度化と効率化を図ります。

調査事例（路面下空洞調査）

点検事例（ドローンを活用した橋梁点検）

●道路利用の適正化

道路には、水道、下水道、電気、ガスなどが埋設されており、安全で快適な暮らしを保つためには、定期的な更新が必要となることから、路上工事にあたっては、各事業者と事前に調整を行いながら、計画的に工事を行っています。

また、のぼり旗や立看板など通行阻害を引き起こしている不法占用物への対策を進めます。

道路工事の調整

不法占用物撤去状況

『市民との共働による道路保全』

●市民などによる道路の見守りの促進 拡充

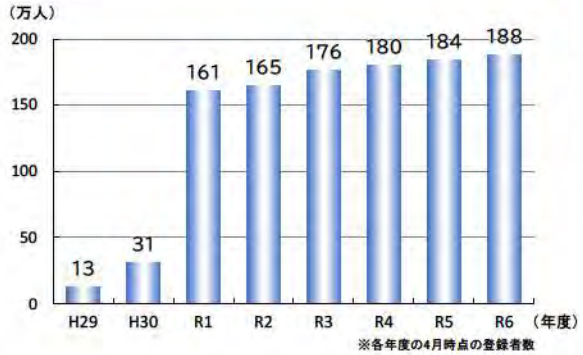
危険箇所などの早期発見と迅速な対応を図るため、市民が発見した危険箇所をスマートフォンアプリ「LINE」で通報していただくなど、市民などによる道路の見守りを促進します。

また、道路やまちへの関心と愛着を育み、市民と行政が一体となって美しく安全・安心なまちづくりを推進するため、道路サポーター制度の登録団体数の増加に向けて、登録要件の緩和や登録団体の事務負担の軽減などに取り組むなど、地域住民やボランティア団体などとの共働による道路環境の保全に努めます。

道路サポーターによる道路清掃

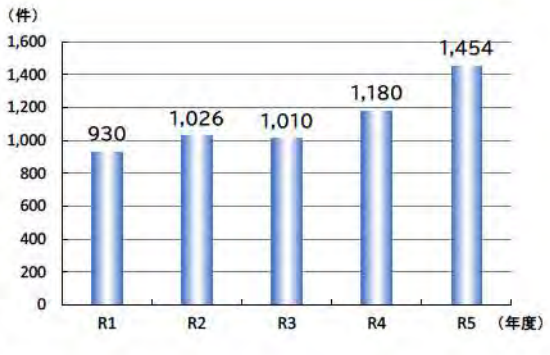
道路協力団体による道路清掃

福岡市公式LINEアカウント登録者数



※各年度の4月時点の登録者数

LINE通報件数



「福岡市道路サポーター制度」 事業概要

道路への関心と愛着を育み、市民と行政の共働による美しく安全なまちづくりに寄与することを目的として、地域団体及びボランティア団体等に道路の清掃・美化及び破損箇所の通報などの活動を行っていただく事業です。

5名以上の団体

地域団体　ボランティア団体　企業　その他団体

◆ 活動(年4回以上)
- 道路の清掃、美化

◆ 情報提供(随時)
- 道路の破損情報

協 定

通 報

活動支援

活動報告

福岡市(行政)

◆ 緊急対応(受付後)
- 現場確認
- 補修工事等

◆ 支援
- ゴミ袋の支給
- ゴミ袋の回収
- 活動広報　等

※最新の情報については福岡市HPをご確認ください。

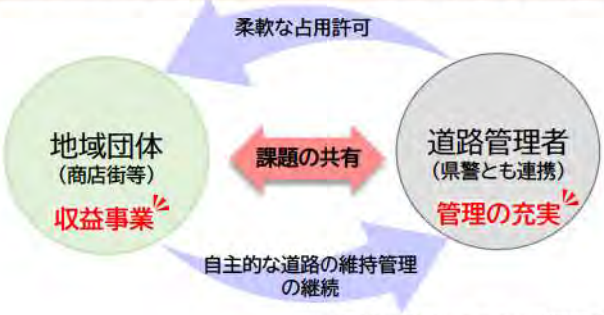
「道路協力団体制度」 事業概要

地域団体との連携による道路管理の一層の充実をめざすことを目的として、道路の清掃等の道路管理活動を自発的・継続的に行う団体等を「道路協力団体」として指定する制度です。

道路協力団体の指定を受けると、道路管理のための収益広告の設置が可能となります。

活動内容(例)

◆ 道路の清掃・除草、不法占用物件の撤去指導
◆ 道路の不具合箇所の通報
◆ 道路の適正利用の啓発(交通安全、飲酒運転防止等)



※最新の情報については福岡市HPをご確認ください。

「LINE通報システム」 好評稼働中!!

ここから⇒
友だち登録！

道路・河川・公園の損傷などを福岡市LINE公式アカウントから写真や位置情報を送信するだけで簡単に通報できます。
右上のQRコードから友だち登録して、市内の道路・河川・公園で損傷などを見つけた際は、ぜひ情報提供をお願いします。

このような箇所を見つけたらお知らせください

道路がくぼんでいる
蓋が割れている

砂やごみが溜まっている

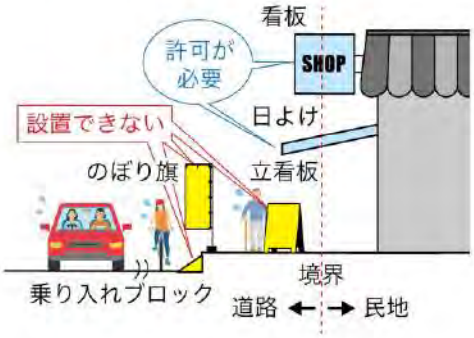
ガードパイプが曲がったり、
折れている

ご利用方法

「道路の適正利用」に関するお願い

物を置く場合は占用許可が必要です

道路上には、基本的に物を設置できませんが、「日よけ」や「看板」など道路の上空に突き出して設置される物も含めて、法令で定められた物については、占用許可を受けることにより設置できるようになります。



占用許可は対象が限られます

「のぼり旗」や「立看板」、段差解消のための「乗り入れブロック」などは、占用許可の対象ではないため、道路上に設置できません。

道路の段差を解消したい場合は、市の承認のもと、自費により歩道の切り下げ工事を行うことができます。

路上に置かれた乗り入れブロック

切り下げ工事後（自費）

柱4

環境にやさしい道づくり

地球温暖化は、気象災害の激甚化・頻発化の一因となっており、様々な分野で影響を及ぼす環境問題となっています。

福岡市では、「福岡市地球温暖化対策実行計画」を策定し、カーボンニュートラルを実装した都市の実現をめざしており、道路分野においても、脱炭素社会の実現に向けた、温室効果ガスの削減や再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した道路整備を進めます。

また、グリーンインフラの考え方を踏まえ、気温上昇の抑制など自然環境が有する多様な機能を活用した快適な道路空間の実現をめざして、街路樹による道路緑化などに取り組みます。

『温室効果ガスを削減する取組み』

●自転車活用の促進

歩行者の安全を確保しながら、自転車、自動車など、誰もが安全で快適に移動できるとともに、環境にやさしい自転車の活用促進を図るため、「福岡市自転車活用推進計画」に基づき、自転車通行空間の整備や市営駐輪場の整備・更新などに取り組みます。

整備事例（自転車通行空間）

【はかた駅前通り】

整備事例（市営駐輪場）

【櫛田神社前駅駐輪場】

●低炭素な建設資材の活用 新規

建設資材の脱炭素化を推進するため、道路工事において、二酸化炭素排出量の削減に効果的なアスファルトやコンクリートの導入に向けた検討に取り組みます。

低炭素アスファルト（イメージ）

アスファルト製造時の加熱温度を10～30℃下げることで、二酸化炭素排出量を削減

資料：東京都

低炭素コンクリート（イメージ）

セメント製造時に発生した二酸化炭素をリサイクルすることで、二酸化炭素排出量を削減

資料：経済産業省

●道路照明灯、防犯灯のLED化

電力使用量やそれに伴う二酸化炭素の排出量の削減、電球の長寿命化による維持管理費の削減などを図るため、本市が設置する道路照明灯のLED化を推進するとともに、地域が設置する防犯灯のLED化を促進します。

整備事例(道路照明灯LED化)

二酸化炭素排出量

※全ての道路照明灯(約3万5千基)をLED化した場合

●再生可能エネルギーの活用 新規

二酸化炭素の排出量が実質ゼロとなる再生可能エネルギーの利用推進を図るため、道路施設への再生可能エネルギー電気の利用や太陽光発電の導入に向けた検討に取り組みます。

(参考事例)太陽光発電の導入

再生可能エネルギー電気の利用事例

●手続きなどのオンライン化 新規

人の移動に伴う環境負荷の低減を図るため、来庁の必要が無いノンストップ行政の実現をめざし、使いやすくて分かりやすいオンライン手続きなどの導入に向けて取り組みます。

防犯灯補助金の電子申請(導入済み)

防犯灯補助金の電子申請

道路台帳図のオンライン閲覧

道路台帳図のオンライン閲覧に向けて
システム開発に着手(令和8年度供用開始目標)

『気候変動に対応した道路整備』

●街路樹による道路緑化

道路を緑化することにより、憩いや安らぎが感じられる空間を創出するとともに、緑陰や良好な景観形成、自然環境の保全、二酸化炭素の吸収などの効果が見込まれることから、都心の森1万本プロジェクトなどと連携しながら、歩道などの幅員に配慮した街路樹の整備に取り組みます。

整備事例(街路樹)

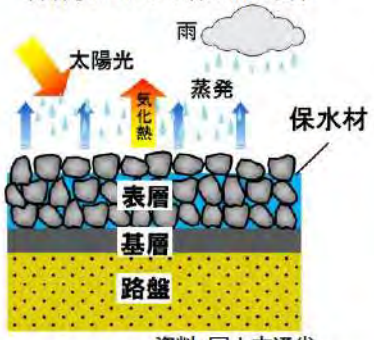
整備事例(街路樹)

●環境に配慮した舗装材の活用　新規

これまで幹線道路や歩道に採用してきた車両の走行騒音の低減に効果のある低騒音舗装(排水性舗装)や雨水を地下に浸透させる透水性舗装に加え、ヒートアイランド現象の緩和や夏の日差しによるアスファルトの暑さ対策として、路面温度上昇を抑制する舗装材の導入に向けた検討に取り組みます。

保水性舗装

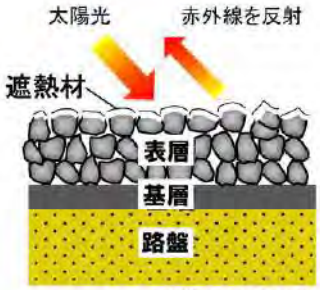
路面温度低減効果　約9～10℃
(降雨などによる保水が必要)



資料:国土交通省

遮熱性舗装

路面温度低減効果　約8～10℃



資料:国土交通省

都心の森1万本プロジェクト

天神ビッグバンや博多コネクティッドにより、まちが大きく生まれ変わっていく中で、緑が持つ魅力により、まちに「彩り」を加え、憩いや安らぎが感じられる空間を創出するため、市民や企業と共働し、新たに樹木を植え、今ある緑をより美しくするとともに、民有地における緑化誘導により、良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図り、緑豊かなまちづくりを推進します。